

チャイルド・デス・レビュー

Child Death Review (CDR)

Part3：情報共有編

(非医療職の多職種対象)

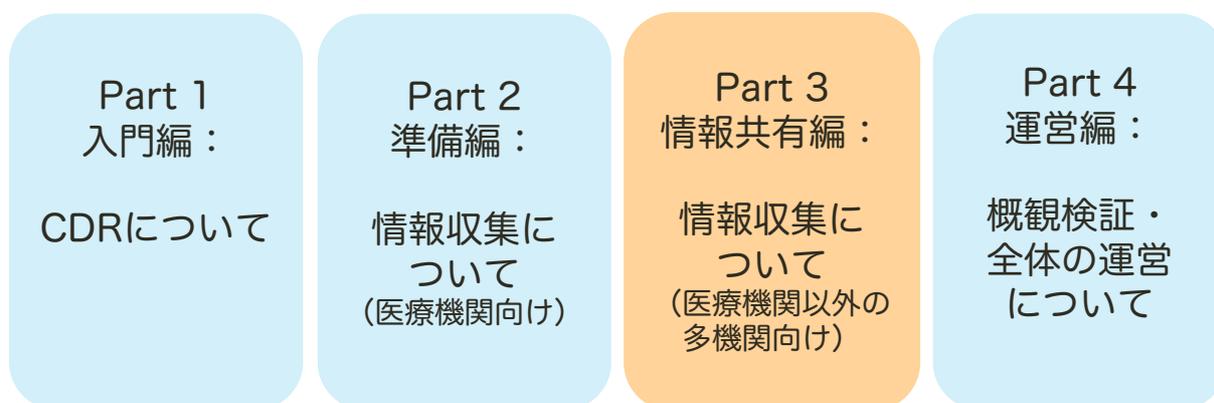
対象者

- ・ 医療職以外の専門職で、これからCDRに関わる方
- ・ 情報共有のための調査票について学びたい方

令和3年度厚生労働科学研究費
補助金事業（沼口班）

作成日：2021年3月1日
改訂日：2023年3月31日
担当：沼口、山岡、内田

CDR研修用資料 全体の構成



今回はこちらの話になります

内 容

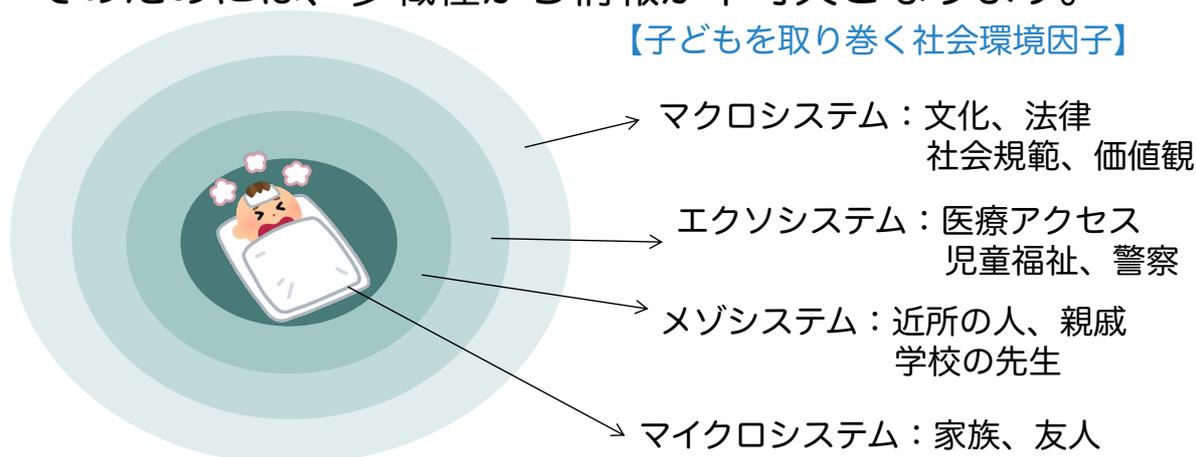
1. 検証を行うために必要な準備とは
 1. 情報共有で得られるメリット
 2. 情報共有する際の注意事項
2. 死亡調査票について
 1. 調査票の全体像
 2. 各機関の情報の大切さ
3. 情報の利用のしかた

検証を行うために必要な準備

1-1. 子どもを取り巻く様々な要因

- 死にいたる過程を包括的に理解し、予防策を総合的に検証するには、子どもを取り巻く様々な要因を検討する必要があります。
- そのためには、多職種から情報が不可欠となります。

【子どもを取り巻く社会環境因子】

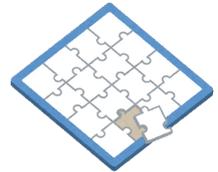


検証を行うために必要な準備

1-2.情報共有で得られるメリット

多職種の情報を持ち寄ることで得られるメリットは、沢山あります。

- 家族の社会背景・家庭環境をより深く理解できる
- 時系列での経過を把握することができる
- それぞれの職種がどのような情報を持っているのかがわかる
- どのような状況の判断だったのかが理解できる
- どのような情報があれば、別の判断ができたかが検討できる
- 複数の事例を集めて、傾向を知ることができる



検証を行うために必要な準備

1-3.医療職以外の専門職への期待

例えば医療職は受診してからの様子しか把握していないため、他職種の方々に普段の状況を聞いてみたいと思っています。

検証を通して事例の理解を深め、価値観や判断を共有できます。

- 普段の保育園や学校での様子
- 保健・福祉サービスを利用したときの様子
- 死亡現場や事故現場の状況
- 保護者や周りの家族の人の言動

家庭訪問での
親子の様子は
どうでしたか？



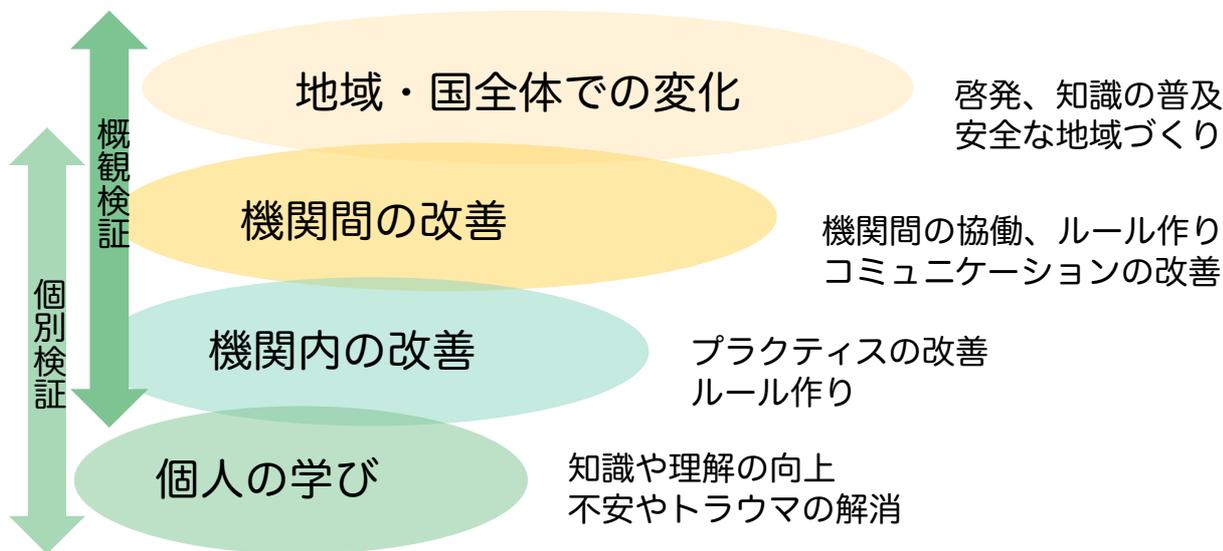
事故現場の様子は
どんな感じでしたか？



検証を行うために必要な準備

1-4. 医療職以外の専門職への期待

基礎知識・価値観・判断など考え方を共有することで、各機関や専門職それぞれにとって“学び”につながります。



検証を行うために必要な準備

1-5. 情報共有する際の注意事項

個人情報を共有することに、不安や懸念を感じるかもしれません。以下の情報は匿名化した上で、検証を行います。

【共有しない情報】

- × (子どもの) 名前
- × 生年月日・死亡年月日



会議に参加する人は、**機密保持の義務**があります。

【会議参加の条件】

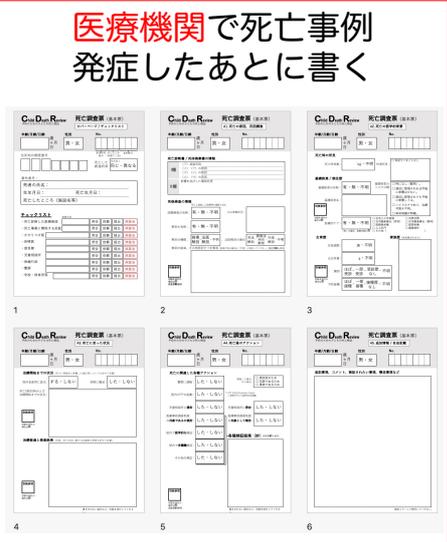
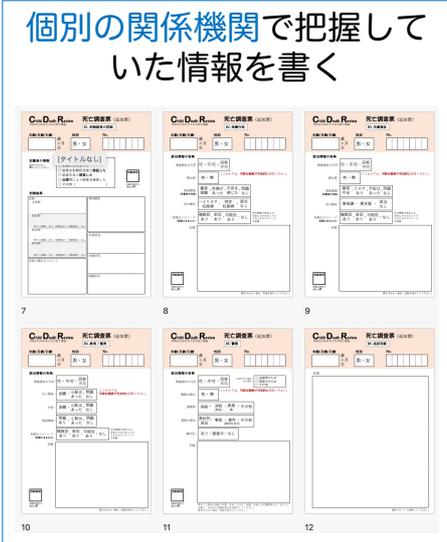
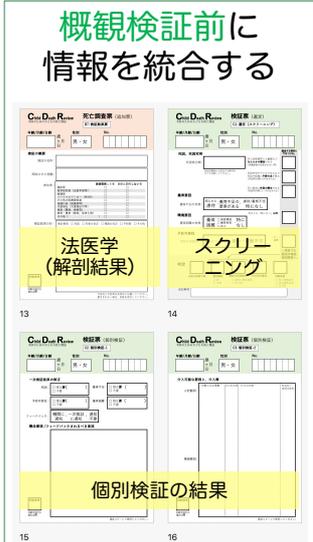
- × 知り得た情報を会議の外では話さない
- × インターネット・SNSには書かない



死亡調査票について

2-1. 調査票の全体像

- 全部で16ページあり、構成は以下の3つのパートに分かれています。

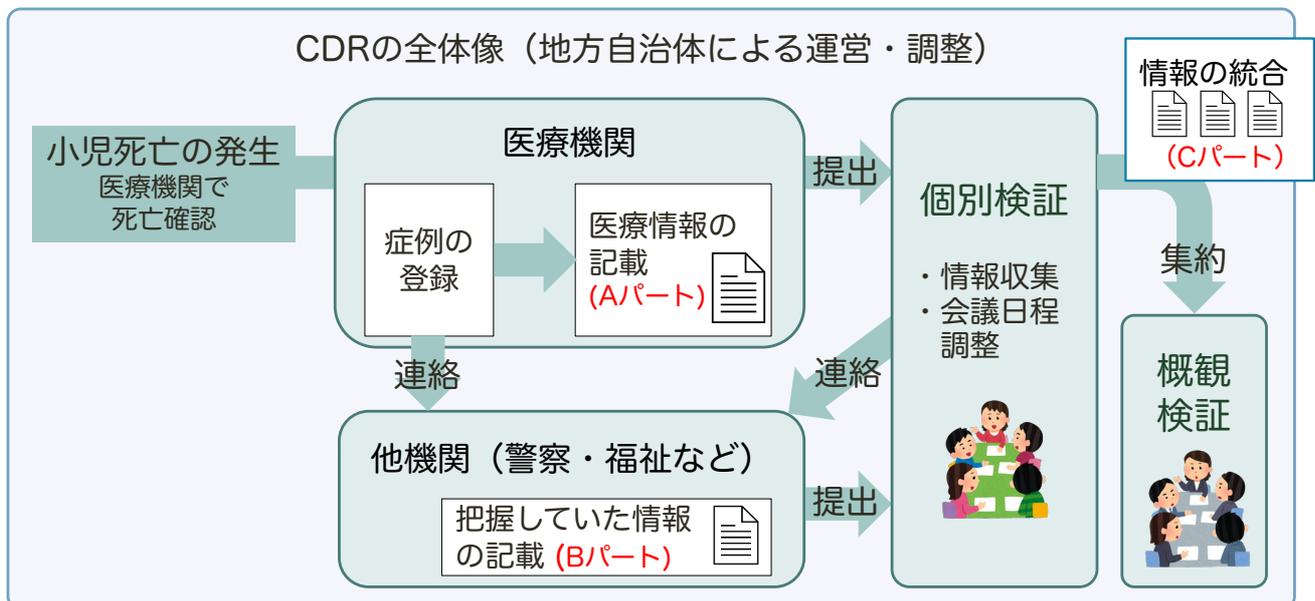
| Aパート | Bパート | Cパート |
|---|---|---|
| <p>医療機関で死亡事例発症したあとに書く</p>  | <p>個別の関係機関で把握していた情報を書く</p>  | <p>概観検証前に情報を統合する</p>  <p>法医学 (解剖結果) スクリーニング</p> <p>個別検証の結果</p> |

死亡調査票について

2-2. 情報収集の流れ

(医療機関で死亡を確認した場合)

- 要請にしたがって、各機関で **死亡調査票のBパート** を記載します



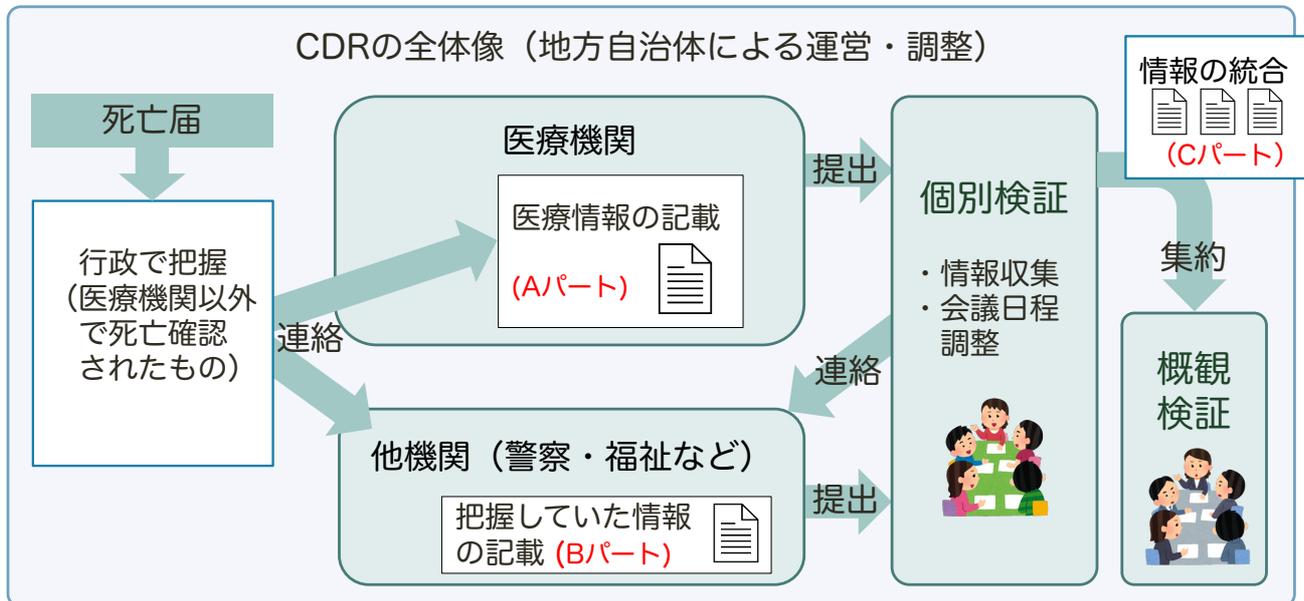
⚙️ 各地域で様々なやり方があり、これは一つの見本です。

死亡調査票について

2-2. 情報収集の流れ

(医療機関で把握されていない死亡の場合)

- 要請にしたがって、各機関で **死亡調査票のBパート** を記載します

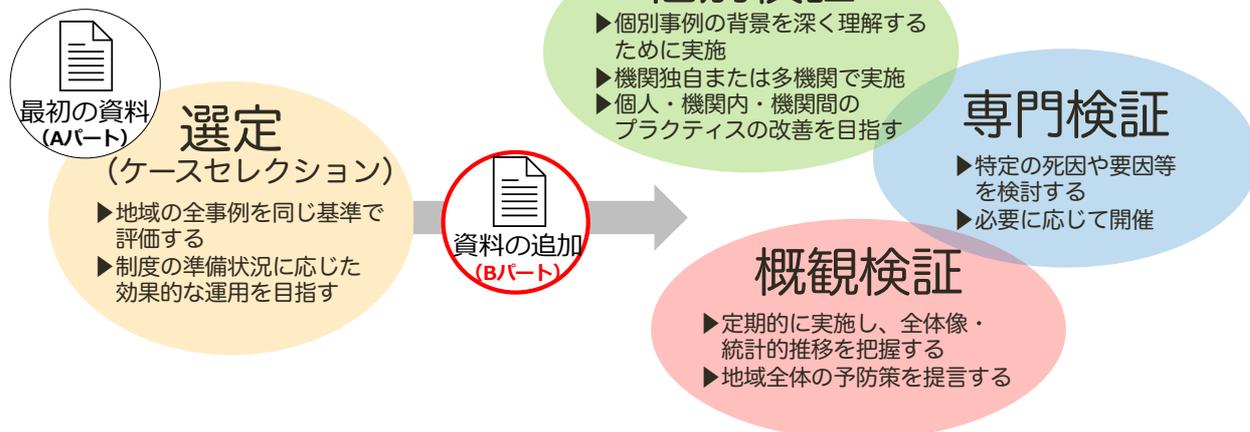


各地域の実情に合わせて、効果的な連絡経路の確立が必要です。

死亡調査票について

2-3. 検証全体の構成

- 最初に収集された資料（主に医療機関の情報；死亡調査票 **Aパート**）をもとに、個別検証の対象事例を **選定 (ケースセレクション)** する場合があります。
- 以後の検証等のため必要な情報を、死亡調査票 **Bパート** で収集します。



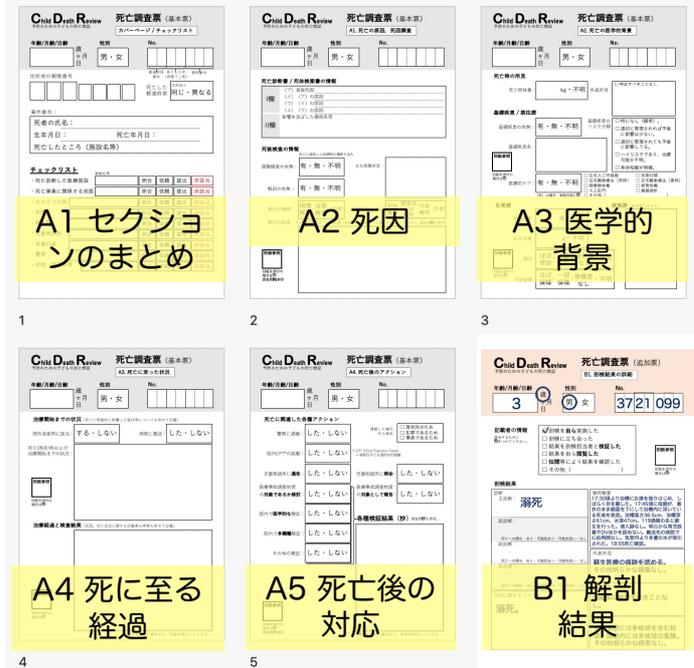
ここに示したのは、ひとつの例です。各地域で工夫して実践してください。

死亡調査票について

2-4. 死亡調査票 (Aパート、B1)

【AパートとB1の概要】

1. **Aパート全体とB1は、医療関係者が記載します。**
2. これらの情報をもとに、**個別検証の対象を選定する場合があります。**
3. これらの情報は検証会議で、**個人情報を匿名化した形で共有されます。**



記入時の注意事項 【記入者：保健行政の関係者】

2-5. Bパート B2 保健行政

- ① 面談、乳幼児健診や家庭訪問などの情報から、**何らかの支援が必要であると考えられ、面談や電話相談、家庭訪問などをしたことがある場合は、関与歴あり**としてください。
- ② 以下の場合、○をつけてください。
養育困難：衣食住が不適切であったり、虐待のおそれや社会的な問題を抱え、支援が必要と考えられた家庭であった場合
危険があった：過去に入院を必要とする・複数回治療を必要とするような事故によるけが、必要な医療を受けさせないで生じた健康被害などがあった
不安を感じた：育児ストレス、産後うつ、子育てへの強い不安や孤立感などを抱え、養育状況に懸念事項があった場合
- ③ ここでは、以下の定義で○をつけてください。
特定妊婦：要体協として要支援・把握していたが
ハイリスク妊婦：特定妊婦ではないが、身体的・精神的リスクがあった
該当なし：リスクなし
判断不可：妊娠期の情報がない場合
- ④ **危険なエピソード**とは、過去に入院を必要とするような事故によるけが、必要な医療を受けさせないで生じた健康被害などを指す

Child Death Review 死亡調査票 (追加票)
 予防のための子どもの死亡検証

B2. 保健行政

年齢/月齢/日齢: 3 歳 性別: 男 女性 No. 3721 099

該当情報の有無

情報提供の可否: 可 不可 回答不可

関与歴: 有 無

家庭環境 (記載者の印象): 養育、危険が、不安を、問題、困難、あった 感じたなし

母の属性: ハイリスク、特定、該当、妊産婦、妊産婦、なし

危険なエピソード (記録にあるもの): 複数回、単回、可能性、あり、あり、あり、なし

記録: 気づいたこと、気になっていたことを、ここに書いてください

別紙参照: 別紙を添付の場合は

書ききれない場合、別紙を添付してください。

記入時の注意事項 【記入者：児童福祉機関の関係者】

2-5. Bパート
B3 児童福祉

- ① 通告相談を受けて、**調査、支援、家庭訪問、一時保護、措置分離などを行ったことがある**場合は、**関与歴あり**としてください。
*通告ありの場合、何をしたかの選択肢
調査、支援、家庭訪問、一時保護、措置分離
- ② 以下の場合、○をつけてください。
養育不全：衣食住が不適切であったり、虐待のおそれや社会的な問題を抱え、支援が必要な状況があった
リスクあり：入院につながるような事故や必要な医療を受けさせないで生じる疾患のリスクがあった
不安を感じた：育児ストレス、産後うつ、子育てへの強い不安や孤立感などを抱え、養育状況に懸念事項があった
- ③ ここでは、以下の定義で○をつけてください。
要保護：一時保護、措置あり
要支援：一時保護はしていないが、面談・家庭訪問・心理療法などを行ったことがある
該当なし：関与歴なしの場合
- ④ **危険なエピソード**とは、過去に入院を必要とするような事故によるけが、必要な医療を受けさせないで生じた健康被害などを指す

Child Death Review 死亡調査票 (追加票)
予防のための子どもの死亡検証

B3. 児童福祉

年齢/月齢/日齢 性別 No.
3 歳 男 女 3721099

該当情報の有無
情報提供の可否 可 不可 回答不可

① 関与歴: 有 無

② 家庭環境 (記載者の印象): 養育・リスク・不安は、問題不全 あり あった なし

③ 児の属性: 要保護・要支援・該当なし

④ 危険なエピソード (記録にあるもの): 複数回・単回・可能性 あり あり あり なし

記録: 気づいたこと、気になっていたことを、ここに書いてください

同胞関与歴も 書いてください

別紙参照
別紙を添付の場合は

書きまれない場合、別紙を添付してください。

記入時の注意事項 【記入者：保育所・幼稚園・学校の関係者】

2-5. Bパート
B4 教育 / 養育

- ① 以下の場合、○をつけてください。
対人関係困難：発達障害や問題行動などで教員や友人との人間関係のトラブルがあった場合
対人関係心配あり：発達障害や問題行動などで教員や友人との人間関係を築くことに懸念があった場合
- ② 以下の場合、○をつけてください。
学習困難：発達障害や問題行動などで授業理解や学習態度に問題があった場合
学習心配あり：発達障害や問題行動などで授業理解や学習態度に懸念があった場合
- ③ ここでは、以下の定義で○をつけてください。
家庭環境問題あり：虐待のおそれがあったり、社会的問題を抱えており困難な養育状況であった場合
家庭環境心配あり：養育状況に懸念事項があった場合
- ④ **危険なエピソード**とは、特に死亡につながるような事故（疾患も含む）に関連するリスクが認められたことがあった（例：入院を必要とするような事故、必要な医療を受けさせないで生じた健康被害の既往など）

Child Death Review 死亡調査票 (追加票)
予防のための子どもの死亡検証

B4. 教育 / 養育

年齢/月齢/日齢 性別 No.
3 歳 男 女 3721099

該当情報の有無
情報提供の可否 可 不可 回答不可

① 対人関係: 困難・心配は、問題 あり あった なし

② 学習: 困難・心配は、問題 あり あった なし

③ 家庭環境: 問題・心配は、問題 あり あった なし

④ 危険なエピソード (記録にあるもの): 複数回・単回・可能性 あり あり あり なし

記録: 1歳3ヶ月より当園で保育開始。両親とも就労。はじめの4ヶ月程度は人見知りが強かったが、以降は保育者によく懐いた。基本は母親が自家用車で送迎し、週1回程度は父親が迎えにきた。稀に30分程度の延長保育の希望があった。家庭内の状況は円満な様子で、家庭内の不和などを訴えたことはない。お絵かきなどでは両親と7歳の兄と本人の4人が並んでる絵を好んで描いていた。食べ物の好き嫌いなし、アレルギーや病気の申告なし。水遊びは好きな児で、夏場のプール遊びを終了する際に、まだ遊びたいと泣くことがあった。

別紙参照
別紙を添付の場合は

書きまれない場合、別紙を添付してください。

記入者【警察の関係者】

2-5. Bパート B5 警察

書類に記載するのが難しい場合は、検証会議等で
口頭で共有していただく
方法もあります。

Child Death Review 死亡調査票 (追加票)
予防のための子どもの死亡検証

B5. 警察

年齢/月齢/日齢 歳 月 日 性別 男 女 No.

該当情報の有無

情報提供の可否 可 不可 回答不可

警察の関与: 有 無

通報者: 病院 (救急) 消防 (救急) 家族等 その他

通報の理由: 病状外届出 事故 (虐待を含む) 事件 その他

事件性: あり・捜査中 なし

記録:
(例: ○○が△△より聞き取った内容を記載、■■の文書を閲覧にて記載、など)

別紙参照

別紙を添付の場合は

関与した物体の情報 (材質、性状、大きさ、配置、死者との位置関係など) を中心に記載し、可及的に現場写真を別途添付してください。書ききれない場合、別紙を添付してください。

記入者【その他の関係者】

2-5. Bパート B6 追記用紙

B2～B5で書ききれない情報はここに追記して下さい。

B2～B5に含まれない職種 (救急隊など) の情報にも、この用紙を活用して下さい。

Child Death Review 死亡調査票 (追加票)
予防のための子どもの死亡検証

B6. 追記用紙

年齢/月齢/日齢 歳 月 日 性別 男 女 No.

記録

適宜コピーして使用してください。

2-5. Bパート B7 検証結果票

何らかの会議
(CDRの個別事例検証以外)
が行われた場合、記載してく
ださい。

Child Death Review
予防のための子どもの死亡検証

死亡調査票 (追加票)

B7. 検証結果票

年齢/月齢/日齢

3 歳 月 日

性別

男 女

No.

3721 099

検証の概要

検証の名称: 救急搬送症例検討会

開始された契機: 3ヶ月に1回の定例開催

参加者:

| | 直接関係した者 | 直接は関係しない者 |
|-----------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 臨床医 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 医学研究者 (法医学者等) | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 看護師 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| ソーシャルワーカー (MSW) | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| その他の医療関係者 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 保健行政 (保健師等) | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 児童福祉 (児童福祉司等) | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 捜査 (警察、検察等) | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 教育・養育 (教師、保育士等) | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| その他 (救急救命士、防災課) | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |

検証結果の抄:

検討事項 死因 死者の状況 環境の状況 予防策 その他

- ・救急隊による蘇生、搬送に問題なし。
- ・乳幼児への気道確保について、気管挿管ではなくとも確実なバッグ・バルブ・マスクを行い、十分に換気するのよい。
- ・自宅浴槽への転落・溺水であり、救命不可と思われる。
- ・市民への乳幼児蘇生の啓発は効果的に行われている。
- ・屋内溺水予防にかかる安全教育は誰が行うか。

別紙参照

別紙を添付の場合は

可及的に予防策を具体的に記載してください。書ききれない場合、別紙を添付してください。

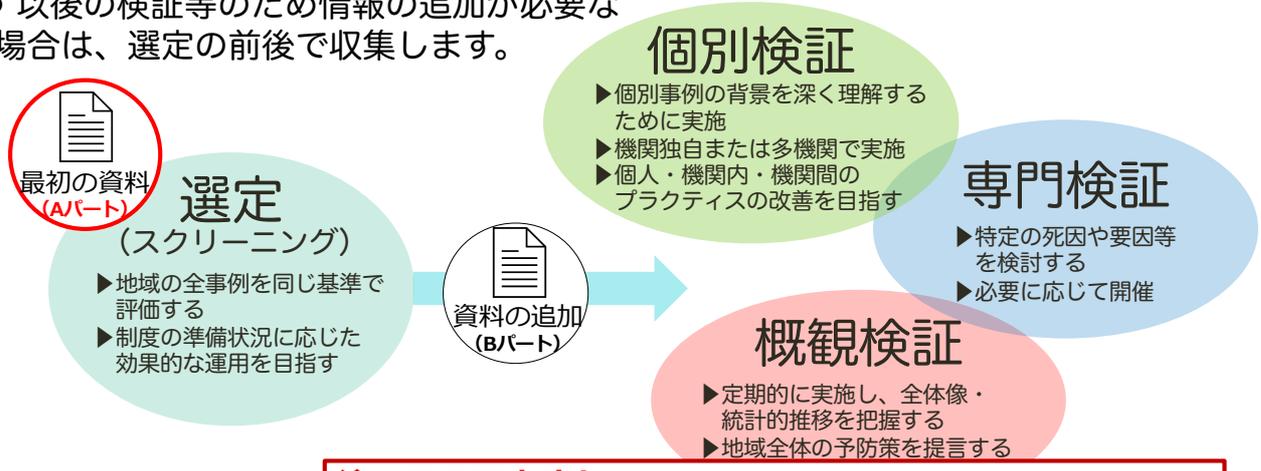
死亡調査票について 2-6. 各機関の情報の大切さ

個人情報共有することに、不安や懸念を感じるかもしれません。以下の情報は匿名化した上で、検証を行います。

情報の利用のしかた

3-1. 検証全体の構成

- 最初に収集された資料（主に医療機関の情報；死亡調査票 **Aパート**）をもとに、個別検証の対象事例を**選定（スクリーニング）**します。
- 以後の検証等のため情報の追加が必要な場合は、選定の前後で収集します。



注：ここで出すか、

ここに示したのは、ひとつの例です。各地域で工夫して実践してください。

情報の利用のしかた

3-2. 個別検証

- 情報収集後に多職種で集まり、**個別検証**を行います。
- 直接事例に関わった者で検証する方法や、直接は関係しない者で検証する方法があります。
- 個人情報抜いた形で、口頭で説明する方法や、サマリー資料を配布する方法などがあります。



注：このスライドを最初に出すのがよい、との意見もありました。

具体的な検討会の材料は決まったルールなどはありませんので、各地域で工夫して実践してください。

情報の利用のしかた

3-3. 概観検証

- 地域の全体像について検証することが、**概観検証**の目的です。
- 各部門や組織の全体像を把握する立場の参加が好ましいです。

個別検証 の確認

- ▷ 対象外事例の把握
- ▷ 得られた結果を地域に還元する

CDRの実効性 の確認

- ▷ 制度の課題を抽出
- ▷ 提言の実施状況をトラッキング

自地域の 実情評価

- ▷ 既存の各種検証等の実施状況
- ▷ 関係各機関の

他地域との 連携構築

- ▷ 他地域との経験の共有
- ▷ 他地域との比較
- ▷ 中央との連携

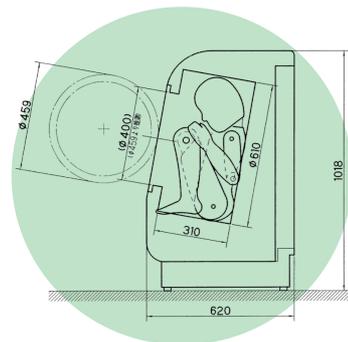


決まったルールなどはありませんので、各地域で工夫して実践してください。

情報の利用のしかた

3-4. 専門検証

- 解析や予防策の策定に特に高い専門性を要する事例が、**専門検証**の対象です。
- 事例を集めて類似点を探索する、検証の効率を高める、匿名性を担保する等の目的で、**複数地域や複数年度の事例をまとめる**ことも想定されます。
- 専門性の高い有識者の参加や、専門家集団の内部での検証も考えられます。



決まったルールなどはありませんので、それぞれが工夫して実践してください。

Part 3: 情報共有編

まとめ

- 予防策を検討するためには、**多機関から**多面的・多角的な情報を収集して共有することが大切です。
- 調査票で集められた情報は、なるべく**同じ基準**で記入していくことで、情報の質を担保します。
- 多職種で検討する際には、**個人情報**を共有せずに話し合い、また参加者は**機密保持の義務**があります。
- 検討する際には、調査票で集められた以外の情報も**口頭**で共有し、理解を深めることもあります。



具体的な検証会議の様子を紹介する「**模擬動画**」がありますので、そちらをご覧ください。決まったルールなどはありませんので、各地域で工夫して実践してください。